

■ 掲示板

■ 林女性自然科学者研究助成基金助成公募（平成16年度）

下記の助成を行うことになりました。希望者は募集要項・申請書を請求の上、書類を事務局にお送り下さい。

対象：わが国の国公立大学、国公立又は非営利事業財団等の研究機関において、自然科学（化学及びそれに関連ある物理学・生物学）の基礎研究に従事する若手女性研究者（国籍を問わない）。

助成内容：①研究助成：10数件、総額約2千万円、②林フェロー：博士号を目指す若手研究者（1百万円）合計数名2年間助成、③国際研究交流助成（国際研究集会での研究発表、海外での

共同研究のための渡航）年10件程度、総額150万円

申込締切：2004年3月31日（水）③は事務局に問い合わせのこと
応募要項：申請用紙は下記宛て希望する助成の種類を明記の上、FAX又は電子メールでご請求下さい。

申込先：中央三井信託銀行 本店法人営業第二部公益信託課内
林基金事務局

TEL：03-5232-8911 FAX：03-5232-8919

E-mail：Noriko_kondou@mitsustrust-fg.co.jp

■ 会告

第77回幹事会

2003年12月6日（土）、東大工学部で開催。

第61回評議員会、第17回総会審議事項の整理および進め方等について検討した。

第69回編集委員会

2003年12月5日（金）、東大工学部で開催。

Vol. 16, No. 5, 6の評価、Vol. 17, No. 1以降の編集方針、とくにカラー化およびレイアウト、それに伴う予算について検討した。

第17回年会・合同シンポ

第4回実行委員会

2003年12月9日（火）、KEK-PFで開催。

受付、各講演会場、ポスター会場、懇親会等の各担当者準備状況を確認した。

第61回評議員会

2004年1月8日（木）、物材機構で開催。

各幹事報告の他、前年度の総括、本年度の基本方針について審議した。

第17回総会

2004年1月8日（木）、物材機構で開催。

会員拡大運動について、放射光のグランドデザイン検討について、江崎玲於奈賞推薦依頼について、第8回学会奨励賞授賞、2003年度事業報告、2003年度決算報告、2004年度学会組織、2004年度事業計画、2004年度編集方針、2004年度行事活動方針、2004年度渉外活動方針、2004年度予算案等について協議した。

第59回評議員会議事録

日時：2003年9月13日（土） 13：30～16：00

場所：東京大学 工学部6号館 大会議室

出席者：大野英雄、鎌田雅夫、菊田惺志、小杉信博、小林克己、
佐々木 聡、曾田一雄、高田昌樹（行事幹事）、
大門 寛、並河一道、柳下 明（編集幹事）、渡辺 誠
各評議員

松下 正（会長）、桜井健次（庶務幹事）、木村真一（渉外幹事）、百生 敦（会計幹事）、西野（事務局）

欠席者：朝倉清高、雨宮慶幸、安藤正海、飯田厚夫、岩崎 博、
太田俊明、籠島 靖、坂井信彦、下村 理、辛 埴、
寿栄松宏仁、関 一彦、高橋敏男、中川和道、
早川慎二郎、藤森 淳、水木純一郎、若槻壮市

議 事：

（審議事項）

1. 議長に並河一道評議員を選出した。
2. 桜井庶務幹事より本会議は、出席者数が細則に定められている定足数（過半数）以下の12名であり、評議員会として成立しないことが報告された。重要案件については速やかに評決をとる必要があるため、欠席者にメールを送り、検討していただくこととした（本会議の討議資料は、事前に評議員会ホームページで公開されており、欠席者からのコメントもいただいている）。
3. 第58回評議員会議事録（案）を承認した。
4. 桜井庶務幹事より前回評議員会以降の入会申込者の一覧が提出され、正会員24名（うち学生6名）の入会を承認した。また退会した賛助会員1社（日立）の退会取り消し届を確認した。さらに退会届 [正会員26名（うち学生5名）、賛助会員1社]、に関する報告があった。その結果、現在の会員数は正会員1,195名（うち学生101名、宛所不明者3名（会誌は発送停止））、賛助会員55社（60口）となった。この件については、欠席者に承認していただくこととした。
5. 桜井庶務幹事より次期評議員選挙結果に関する報告があった。佐々木氏に選挙担当評議員をお願いし、評議員候補者の推薦の集計、候補者リスト作成、選挙開票を集計し、以下の

通りとなったことを承認した。この件についても、欠席者に承認していただくこととした。

次期評議員（任期：2004. 1. 1-2005. 12. 31）

柿崎明人, 上坪宏道, 河田 洋, 北村英男, 木下豊彦,
熊谷教孝, 坂田 誠, 田中健一郎, 谷口雅樹, 中井 泉,
野村昌治, 松井純爾, 松下 正, 圓山 裕, 横山利彦
次期も引き続き評議員である者

（任期：2003. 1. 1-2004. 12. 31）

朝倉清高, 飯田厚夫, 岩崎 博, 大野英雄, 籠島 靖,
鎌田雅夫, 小林克己, 曾田一雄, 高田昌樹, 高橋敏男,
大門 寛, 中川和道, 並河一道, 柳下 明, 若槻社市

6. 松下会長より第8回日本放射光学会奨励賞について、4名（内、有資格者3名）の被推薦者を、会長以下、8名の選考委員会で審査し、以下の2名を受賞候補者として推薦する旨の報告があり、これを承認した。

この件についても、欠席者に承認していただくこととした。

井野明洋（1971. 8. 15 生）

広島大学大学院理学研究科 物理科学専攻 物性科学大講座
研究課題「銅酸化物高温超伝導体の電子構造の研究」

矢橋牧名（1971. 4. 22 生）

超高輝度光科学研究センタービームライン・技術部門

研究課題「強度干渉計による X 線コヒーレンスの研究」

7. 第9回将来計画検討特別委員会議事録案を承認し、学会誌に掲載することとした。また、松下会長より、報告「極紫外・軟 X 線高輝度放射光源計画について」について、関係機関に提出するタイミングの問題など、現在の状況に関する説明があった。それに関して様々な議論があったが、報告文の文章自体には問題はないので、学会誌に掲載することとした。将来計画特別委員会の今後の展開については、グランドプランに関する議論と共に、状況の動きを見てご審議いただき、次回評議員会で検討することとした。この件についても、欠席者に承認していただくこととした。
8. 木村渉外幹事より、第5回シンクロトロン光アジアフォーラム・佐賀からの共催依頼、セミナー「表面スーパークリーニングとその評価技術最前線」、第15回非弾性イオン表面衝突国際ワークショップ、物理学会セミナー「宇宙を見る新しい目」、原子衝突研究協会第28回研究会、精密表面設計研究会シンポジウム、International Symposium on Portable Synchrotron Light Sources and Advanced Applications、機能性材料の3次元微細加工技術講演会、応物理学会結晶工学分科会、2003年・年末講演会からの協賛依頼、ミレニアム・サイエンス・フォーラム、第18回「大学と科学」公開シンポジウム、第7回 X 線結像光学シンポジウム、第8回 X 線顕微鏡国際会議からの後援依頼、VACUUM2003-真空展からの協力名義使用依頼、平成16年度科学技術功労者・研究功労者及び科学技術振興功労者表彰受賞候補者推薦依頼について報告があり、これを承認した。この件についても、欠席者に承認していただくこととした。

（報告事項）

1. 百生会計幹事より会費未納状況について、前回評議員会で報告した未納者は200名位だったが現在は130名になっている、8月に再請求したので更に減るだろうという報告があり、こ

れを承認した。また、未納者数と滞納状況に関する説明があった。さらに未納者リストが回覧され、各評議員の周辺に未納者が居たら、催促をして欲しいという要請があり、年会会場に会費支払いの受付を作り、その場で回収することも検討することとした。

2. 高田行事幹事より第17回年会・合同シンポの開催準備状況について、学会誌に掲載する開催要項、第1回組織委員会議事録、第1回、第2回実行委員会議事録が提出され、各委員会での議論の経緯などの報告があった。さらに第18回年会合同シンポは佐賀大学と佐賀県の合同開催、第19回は分子研と名古屋大学の合同開催を予定されている旨の説明があり、開催地の順番について質問があったが、とくに決まりはないことを確認し、これを承認した。

また、高田幹事より、事前参加登録制にすると参加者数や懇親会出席者数が分かり、会場設営や受付作業の負担が減るなどの利点があるので、第18回年会・合同シンポから実行したい旨の提案があった。

松下会長より、この件については評議員会で認めていただき、各共催団体に提案したいという要請があった。それを受けて、議論をした結果、事前に参加登録をすることは承認するが、その参加費をどうするかということについては、幹事会および第18回年会・合同シンポ組織委員会で、検討することとした。

3. 柳下編集幹事より会誌「放射光」の今後の編集について、第17（次年度）から表紙および各記事のレイアウトを新デザインに変えることを検討中であり、それに伴う「投稿の手引き」の記述（とくにカラー図・写真）を修正すること、表紙のロゴマークは公募することなどが報告された。本会議はそれを承認すると共に、公募の方法・時期などについては幹事会で検討し、次回評議員会で報告することとした。
 4. 桜井庶務幹事より、上坪宏道氏が「第19期日本学術会議の会員として推薦すべき者」に決定した旨の通知が学術会議会員推薦管理会から届いたことが報告され、松下会長より上坪氏を推薦するために本学会推薦人として推薦人会議に出席した経緯に関する報告があった。
 5. 松下会長より、日本学術会議結晶学研究連絡委員会より要請があった研連委員推薦については、寿栄松宏仁氏を推薦し、委員に決定したことが報告された。
 6. 桜井庶務幹事より、笹川科学研究助成募集の案内について報告があり、今後はこのような広報を学会誌に掲載することとした。
 7. 木村渉外幹事より学会ホームページの更新作業について、2名の渉外委員が書き替え中であり、内容はかなり充実してきている旨の報告があった。
 8. 桜井庶務幹事より会員拡大運動の現状について、2003年度の月別入退会者数の掲示があり、昨年度の同時期と比べてもそれ程変わらず、拡大運動による会員増加が見られなかったことが報告された。松下会長より、4月に非会員（1,415名）にダイレクトメールを送り、6月に開かれた「SPRING-8 講習会」に学会事務局が参加し入会案内をしたが、あまり効果が無かった旨の説明があった。
- 入会のメリット、とくに施設職員が入会しないことについ

て、各ユーザー団体の年会費を学会年会費に含める、また、施設に居ると情報が充分にあるので、一般の職員からは学会の存在が見えにくいという意見があった。さらに、ホームページに会誌を掲載する、魅力があれば学生会員は増える、今までには無い学会のあり方を考えるべきだ、などの意見が出た。この件については、今後もさらに検討していくこととした。

9. 松下会長より、学会活動総合検討特別委員会が評議員会のあり方、継続性について討議した結果を次回評議員会に提案するよう同委員会に働きかける旨の報告があった。
10. 松下会長より、評議員会の開催日は、できるだけ早い時期に決めておいたほうが良く、合同シンポ開催時の評議員会を含めて年4回分を予め決めておくという方法もあることが提案された。次年度より実行することを検討するとして、次回評議員会は12月6日(土)に開催することを決定した。

第60回評議員会議事録

日 時：2003年12月6日(土) 13:00~15:00

場 所：東京大学 工学部6号館 大会議室

出席者：雨宮慶幸、大野英雄、太田俊明、籠島 靖、菊田惺志、佐々木 聡、下村 理、寿栄松宏仁、曾田一雄、高田昌樹(行事幹事)、高橋敏男、大門 寛、早川慎二郎、藤森 淳、水木純一郎、柳下 明(編集幹事)、渡辺 誠 各評議員
松下 正(会長)、桜井健次(庶務幹事)、木村真一(渉外幹事)、百生 敦(会計幹事)、西野(事務局)

欠席者：朝倉清高、安藤正海、飯田厚夫、岩崎 博、鎌田雅夫、小杉信博、小林克己、坂井信彦、辛 埴、関 一彦、中川和道、並河一道、若槻壮市

議事：

(審議事項)

1. 議長に太田評議員を選出した。
2. 第59回評議員会議事録(案)を承認した。
3. 桜井庶務幹事より前回評議員会以降の入会申込者の一覧が提出され、正会員72名(うち学生48名)、賛助会員1社の入会を承認した。さらに退会届[正会員24名(うち学生3名)、賛助会員1社]に関する報告があった。その結果、現在の会員数は正会員1,242名(うち学生141名)、賛助会員55社(60口)となった。
4. 桜井庶務幹事より、「2002年度と2003年度の月別入会・退会者数」が提出され、本年10月は年会・合同シンポ発表者資格の絡みもあって、前年10月の入会者の3倍以上の入会者があったことが報告された。さらに松下会長より、ホームページで入会できるようになったことも影響している旨の捕捉があった。また、九州地方の会員増をはかるため、12月10日に佐賀大で開かれる講演会の会場で、「入会案内」、「入会申込書」、学会誌見本を各150部、置かせていただくことになった旨の報告があった。
5. 松下会長より、将来計画検討特別委員会について上坪委員長と話し合った結果、その活動は年間延長となっているが、周囲の状況の変化などにより、ランドデザインをまとめるまでには至っていない。しかし、特別委員会の構成を変える

ことなどを検討し、学会としてランドデザインを議論する場をしっかりと保持していきたい旨の提案があった。

さらに、学術会議・物研連下の放射光科学小委員会に対しても、学会としてのスタンスを考えなければならないことが提起され、出席委員より現在の小委員会の活動状況について、実質的な会合が開かれていないことなど、様々な議論があった。しかし、学会主導の委員会での議論には限界があり、学術会議(第三者)に議論する場(小委員会)があることは良いことなので、学会と小委員会との関係を整理し、小委員会が機能するよう働きかけることとした。

また、「もし、特別委員会を継続するならば、学会の企画に外部から人を取り込むべき。」、また、「拡大評議員に課題を出し、それに対する意見をまとめて、学会の見解とするのも良いのではないか。」という意見もあったが、松下会長より特別委員会の枠内で委員を改選することを1月の評議員会に諮ることが提案され、それを了承した。

6. 桜井庶務幹事より、学会活動総合検討特別委員会が提案した「次期会長選挙時期を一年繰り上げる。」ことに対する幹事会案の提案があった。「次期会長選挙時期を一年繰り上げることは行わない。」、「次期会長候補者は、選出された(7月)以後の評議員会(8月末-9月上旬/会長決定)・幹事会にオブザーバー参加する。」ということであり、次年度より実施することとした。

また、松下会長より、会長任期終了後(1月)の学会奨励賞の授与について、見直して欲しい旨の提案があった。奨励賞の審査と表彰は別に考えるべきものなので、今後は表彰時の会長が授与することとした。

7. 柳下編集幹事より、学会誌の表紙・目次・本文のデザイン変更に関する報告があり、レイアウト案が提出された。カラー化については、本年度は1号を除く5号分が既に実施され、印刷費は本年度予算内(850万円)で収まったが、次年度の6号分の印刷費予算額を50万円繰り上げないと(900万円)、6号分の印刷費が出ないことが説明された。(次年度の印刷費を850万円以内に収めようとする、解説・トピックスなどのカラー記事の件数を減らすか、カラー部分は解説記事だけにするということになる。)しかし、カラー記事の別刷代を20%~30%上げるなどして、不足分を補えることができれば、学会の会計を圧迫せずにカラー化を実現できるので、その方向で議論していただきたい旨の提案があった。出席評議員からは、「別刷で儲けようとするのは、よくない。」、「広告も希望があればカラーにすると良い。」という意見があった他、カラー記事以外の著者がカラーを希望した場合は、従来通りカラー代金を請求することを確認した。カラー記事に見合った原稿が掲載されることについては、著者がカラーで書くとなると、書き方を工夫するという意見があった。百生会計幹事より、本年度の850万円については学会会計上でバランスしている。松下会長からは、カラー化の予算を組むことで、学会の繰越金に繰り込まなければ良いという意見があった。本評議員会は、学会誌の次年度予算額について了承し、カラー記事の別刷代については編集幹事と会計幹事が検討することとした。
8. 木村渉外幹事より、大阪ニュークリアサイエンス協会「第13

回放射線利用シンポジウム」,「第3回東北大学多元物質科学研究所研究発表会」,日本表面科学会「第5回市民講座」,日本高圧学会「高圧力科学技術セミナー(28)」,日本原子力研究所「報告と講演の会」,BSR2004組織委員会「8th International Conference on Biology and Synchrotron Radiation」,「中性子光学国際会議(NOP2004)」,「第3回中性子位置敏感検出器国際会議(PSND2004)」企画運営委員会,御物質・材料研究機構「第5回アクティブ・ナノ計測基盤技術の確立成果報告会」からの協賛または後援依頼に関する報告があり,これを承認した。

9. 百生会計幹事より,第17回年会・合同シンポの予算案が提出され,収支に関する報告があった。今回は会場費(160万円)がかかるが,加速器奨励会,茨城県からの補助金(30万円),企業展示(37社)の収入があり,37万円を学会に繰り入れることになった旨の説明があった。さらに,現時点での企業展示の件数は42社(43小間)となっているので,50万円の増収が見込まれることが付け加えられ,黒字の決算報告に関する議論があった。加速器奨励会,茨城県への対応に関しては,所轄が違うので黒字でも構わないということになり,黒字を「学会への繰り入れ金」と表記するのはよくないという意見については,予算案には記載せず懇親会費で調整し,決算報告には「学会への繰り入れ金」を記載することとした。

(報告事項)

1. 百生会計幹事より会費未納状況について,前回評議員会では130名の未納者が居たが,現在は89名に減っている旨の報告があり,未納者リストが提出された。また,未納者については,年会会場で支払うよう督促をすることになっているが,各評議員の周辺に未納者数が居たら,すぐに支払うよう声をかけて欲しいという要請があった。
2. 高田行事幹事より第17回年会・合同シンポの開催準備状況について,第2回,第3回プログラム委員会議事録,第3回実行委員会議事録が提出され,各委員会での議論の経緯,およびプログラムの概要に関する報告があった(口頭発表:92件,ポスター発表:393件,企業展示:42件(43小間))。また,今回の企業展示については,当初は出展申し込みが少なかったが,展示会場をポスター会場に隣接することや,懇親会を立食にすることなどを各社に伝え,多数の企業に出展を申し込んでもらった経緯に関する説明があった。さらに,学生賞の審査法について議論があり,現状では賞の権威を落とすことになるので,口頭発表賞は座長が,ポスター発表賞は分野別審査委員が審査をし,プログラム委員会と議論をして受賞者を決定することとし,次回評議員会に報告することとした。
3. 松下会長よりホームページについて,渉外幹事の尽力で充実をはかり,機能してきている旨の報告があり,木村渉外幹事より現状に関する報告があった。
4. 桜井庶務幹事より,評議員会成立のための委任状の導入に関する提案があった。議論の結果,細則第3章第5条には,「評議員会は現有評議員の過半数の出席をもって成立する。」と書かれているが,委任状については表記されていない。評議員会開催通知時,定足数に満たないことが分かった時点で,欠席者に委任状を提出するようお願いすることとした。
5. 桜井庶務幹事より,評議員会の議事「各団体からの協賛依頼」の承認について,今後は電子化したい旨の提案があり,これを承認した。
6. 高田行事幹事より,3月16日(火),17日(水)に佐賀県で開かれるアジアフォーラムについて報告があった。本学会が第1回を神戸で開催し,第2回は韓国,第3回はSPring-8,第4回は広島で開催され,第5回目となる今回は,本学会が主体的に取り組む会議として,行事幹事がOrganizing Committee, Executive Committeeに加わることを確認した。
7. 次回評議員会は,2004年1月8日(木)12:00-13:00,年会会場(物質・材料研究機構千現地区研究本館第2会議室)で開催することとした。

会員異動

■第59回評議員会で承認

《正会員入会》

森脇 太郎	高輝度センター)
本田 融	KEK 物構研 放射光源
矢治光一郎	広大(学)
橋本 信	東大院 理 物理学 藤森研(学)
江端 一晃	東大院 新領域 藤森研(学)
滝沢 優	東大 理学系研究 物理学(学)
八木 創	東大院 理学系研究(学)
藤澤 英樹	理研 表面化学研究室
山本 靖	名工大 しくみ領域
小林 正起	東大院 理学系研究科 物理学(学)
元垣内敦司	三重大 電気電子工学
石井 啓文	NSRRC Taiwan Beam Lines at SPring-8
溝端 栄一	理研 横浜研究所 ゲノム科学総合研究センター
三田村 徹	姫工大 工学研究 応用物理学講座
竹内 恒博	名大 難処理人工物研究センター
高原 淳	九大 先端物質化学研究所
枋原 浩	九大 院 総合理工
三浦 信広	立命館大 COE 推進機構
森 嘉久	岡山理科大
望月 孝晏	姫工大 高度産業科学技術研究所
篠崎 芳郎	東海大 医
松尾 修司	福岡大 高機能物質研究所
上原 宏樹	群馬大 工 材料工学
松田 康弘	岡山大 理 物理

《正会員退会》

清水雄一郎	宮崎大 工 電気電子工 電子基礎講座
高橋 宏行	東大院 工 応用化学 尾嶋研
草場 耕一	広大院 理 物理科学 物性科学 光反応物性
中島 智明	東大 生産技術研究所 安井研(学)
水谷 竜典	名大院 工
早川 耕亮	信州大 工
Sardar Saydul Amin	広大院
池田 雅彦	東大院 理 溝川研(学)

岩堀 史洋 長岡技科大 院 (学)
 吉川 秀樹 東大 院 工学系研究 物理工学 百生研 (学)
 江橋 節郎 岡崎国立共同研究機構 生理研 名誉教授
 飯高 洋一
 富満 廣 原研 先端基礎研究センター
 菅原 真澄
 石黒 武彦
 井村 健
 木村 正広 高知工科大 知能機械システム工学
 金山 俊昌 エス・ケイ・ケイ・パキュウムエンジニアリング
 野田 英之 日立 中央研
 富本 博之 広大院 理 物理 光化学研
 新井 宗仁 産総研 生物機能工学研究部門
 井上 隆博 姫工大 高度産業科学技術研究所
 神保 健作 三菱 神戸製作所
 栗原 英明 姫工大 理 エックス線光学 (学)
 関谷 拓雄 東大 院 工 応用化学 尾嶋研
 阿部 駿介 日本オンコロジーシステム

以上26名

■第60回評議員会で承認

《正会員入会》

堤 哲也 北大 院 工学研究 触媒化学研究センター・表面
 活性 (学)
 小山 貴久 姫工大 院 理学研究 (学)
 小川 博嗣 産総研 光技術 広帯域量子放射技術 G
 大山 光晴 千葉大 自然科学研究 (学)
 北原 周 関学大 理学研究 高橋功研 (学)
 佐々木 誠 立命館大 電子・光情報工学
 辻 成希 群馬大 院 工学研究 (学)
 小林 英一 産総研 計測標準研究部門
 木原 英夫 都立大 院 理学研究 物理学 光物性研究室 (学)
 木村 宏之 東北大 多元物質化学研究所
 岡根 哲夫 原研 関西研 放射光科学研究センター
 稲葉 雅之 コベルコ科研 物理解析部 表面・構造解析室
 山崎 裕史 高輝度センター
 大東 琢治 筑波大 理工学研究科 青木研
 三上 朗 三洋電機 マテリアル・デバイス技術開発セン
 ター BU
 山下 栄樹 阪大 蛋白質研究所
 Schuler Jorg アルバック・ファイ
 梶浦 嘉夫 花王 ヘアケア研究所
 牧野 久雄 東北大 金属材料研究所
 増沢 航介 東大 物性研 (学)
 内山 英史 総研大 数物科学研究 物質構造科学 (学)
 謝 天 広大 理学研究科 (学)
 山本 達 東大 物性研 吉信研 A322 (学)
 藤田 修一 九州大 院 理学府 (学)
 中林 史智 関学大 理工 (学)
 村田 誠 東工大 院 化学 河内研 (学)
 星野 崇 東大 物性研 (学)
 原 伸英 姫工大 院 理学研究 物質科学 (学)

上田 智康 理研 X線干渉光学研究室 (学)
 近松 彰 東大 院 工学系研究 応化 尾嶋研 (学)
 大田 実 群馬大 院 工学研究 電気電子 (学)
 吉田 徹夫 東都大 院 理学研究 (学)
 野積 洋介 東大 院 (学)
 中村 聡 東都大 院 理学研究 理学 物性研 (学)
 村木 聡 姫工大 院 理学研究 (学)
 梶川 卓哉 名大 院 応物 ミクロ構造工学講座 (学)
 穂坂 綱一 KEK 物質構造科学研究所 放射光施設 (学)
 宮崎 秀俊 名大 物理工 量子エネルギーコース (学)
 郭 方准 高輝度センター (学)
 橋本 龍司 東大 院 工学系研究 尾嶋研 (学)
 宮本 幸治 広大 理学 物理科学 光物性 (学)
 山崎健太郎 広大 院 理学研究 (学)
 大野 遥平 東海大 工学研究 応用理学 (学)
 岸本 武文 姫工大 機械系工学 (学)
 東口 光晴 広大 院 理学研究 物理科学 (学)
 牧 進也 立命館大 理工 (学)
 朝直 俊介 広大 理学 物理科学 光物性講座 (学)
 柳楽 未来 広大 理学 物理科学 光物性講座 (学)
 恒川 雅典 阪大 院 基礎工学 物性物理 菅研 (学)
 高野 勝昌 群馬大サテライト・ベンチャー・ビジネス・ラボ
 ラトリー
 下志万貴博 東大 物性研 辛研 (学)
 鈴木あかね 東大 院 理学系研究科 (学)
 前田 宗利 総研大 数物科学 物質構造科学 (学)
 伊折 数幸 広大 (学)
 原田 知恵 広大 化学 反応物理化学研究室 (学)
 今村 真幸 東北大 理学研究科 物理放射光光電子研 (学)
 Chai-Ngam Ritthikrai 姫工大 理学研究科 (学)
 藤井 靖大 東大 院 理学 物理学 溝川研 (学)
 彦坂 泰正 分子研 UVSOR
 川田 雅輝 東北大 多元物質科学研究所 (学)
 神保 雄次 山形大 院 理工学研究科
 石松 直樹 広大 院 電子物性研究室
 服部 詔子 立命館大 メディアセンター
 保坂 将人 分子研 UVSOR
 今園 孝志 原研 光量子科学研究センター
 島田由美子 京都教育大 (学)
 手老 龍吾 分子研
 岡崎 良子 立命館大 COE 推進機構
 榎崎 佳紀 立命館大 理工 (学)
 萱島堅太郎 東大 院 新領域創成科学研究科 (学)
 中村 剛 高輝度センター
 山本 和矢 阪府大 院 工 (理研/SPring-8) (学)

《正会員退会》

宮原 義一 原研 関西研 放射光研究所
 盛田 友基 広大 院 理 化 集積化学
 芳賀 孝吉 オートネットワーク技術研究所
 中村洋次郎 奈良先端大 院 物質創成科学 (学)
 野田 章 京大 化研 付属原子核科学

溝端 秀之 立命館大 理工
 中沢 正治 東大 工 システム量子
 小林 仁 KEK 加速器研究施設
 安井光太郎 岡山大 放射線医学
 山川 達也
 平戸 克幸 東大 工 応用化学 尾嶋研(学)
 中西 哲也 三菱電機 先端総研 電機部
 田中 道七 立命館大 メディアセンター
 田口 孝雄 富士通研究所 シリコンテクノロジー研究所
 酒井 宏明 理研 横浜研究所 ゲノム科学総合研究センター
 五十嵐健二 東芝 生産技術センター プロジェクト担当
 栗田 進 横国大 工 知能物理工学
 林 哲介 京大 院 人間・環境学
 薄井 徹 NKK エンジニアリング技術総括部
 平野 紘一 日本能率協会
 奥村 務 東大 工 応用化学 尾嶋研(学)
 亀田 幸成 アイオーピー・パブリッシング・リミテッド
 吉岡 秀樹 兵庫工技センター
 小塩 高文(物故) 芦屋大 産業教育

2003年度事業報告

- 第16回総会／2003年1月9日(イーグレひめじ)
- 第16回年会・放射光科学合同シンポジウム
 ／2003年1月9日-11日(イーグレひめじ)
- 第7回学会奨励賞授与／2003年1月9日(イーグレひめじ)
- 第8回学会奨励賞選考委員会／2003年9月12日(東大工学部)
- 評議員会
 第57回／2003年1月9日(イーグレひめじ)
 第58回／2003年4月19日(東大工学部)
 第59回／2003年9月13日(東大工学部)
 第60回／2003年12月6日(東大工学部)
- 幹事会
 第73回／2003年4月19日(東大工学部)
 第74回／2003年9月13日(東大工学部)
 第75回／2003年11月1日(東大工学部)
- 編集委員会
 第66回／2003年2月7日(東大工学部)
 第67回／2003年4月4日(東大工学部)
 第68回／2003年8月8日(東大工学部)
 第69回／2003年12月5日(東大工学部)
- 学会誌発行
 第16巻第1号／2003年1月31日
 第16巻第2号／2003年3月31日
 第16巻第3号／2003年5月31日
 第16巻第4号／2003年7月31日
 第16巻第5号／2003年9月30日
 第16巻第6号／2003年11月30日
- 日本放射光学会将来計画検討特別委員会
 第9回／2003年4月19日(東大工学部)
- 学会活動総合検討委員会
 第2回／2003年1月9日(イーグレひめじ)
- 第17回年会・合同シンポ：組織委員会
 第1回／2003年6月21日(エポカルつくば)
 ■第17回年会・合同シンポ：プログラム委員会
 第1回／2003年6月21日(エポカルつくば)
 第2回／2003年9月24日(東大工学部)
 第3回／2003年10月8日(東大工学部)
 ■第17回年会・合同シンポ：実行委員会
 第1回／2003年6月21日(エポカルつくば)
 第2回／2003年7月17日(物材機構)
 第3回／2003年10月21日(KEK-PF)
 第4回／2003年12月9日(KEK-PF)
 ■評議員選挙開票
 第1回／2003年6月23日(東工大・長津田)
 第2回／2003年7月25日(東工大・長津田)
 ■共催
 2003・3月
 [主催] 佐賀県
 [共催] 日本放射光学会, 佐賀大学
 第5回「シンクロトロン光アジアフォーラム・佐賀」
 ■協賛
 2003・1月
 [主催] ㈱大阪ニュークリアニュークリアサイエンス協会
 第12回「放射線利用シンポジウム」
 2月
 [主催] 日本化学会コロイドおよび界面化学部会
 第21回「関西界面科学セミナー」
 5月
 [主催] ㈱物質・材料研究機構 ナノマテリアル研究所
 第3回「アクティブ・ナノ計測基盤技術の確立」公開成果報告会
 第1回「アクティブ・ナノ計測技術に関する国際シンポジウム」
 第4回「アクティブ・ナノ計測基盤技術の確立」公開成果報告会
 6月
 [主催] ㈱計測自動制御学会関西支部
 平成15年度講習会「安全の探求」
 7月
 [主催] 触媒学会精密表面設計研究会
 シンポジウム「放射光を利用した触媒精密解析と設計」
 7月
 [主催] 日本真空協会関西支部&日本表面科学会関西支部
 セミナー「表面スーパースーパークリーニングとその評価技術最前線」
 8月
 [主催] 日本真空協会
 第43回「真空夏季大学」
 8月
 [主催] 日本物理学会
 セミナー「宇宙を見る新しい目」
 8月
 [主催] 原子衝突研究協会
 第28回「研究会」

9月

[主催] 日本 XAFS 研究会

第6回「XAFS 討論会」

10月

[主催] 第16回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議
組織委員会

第16回「マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議」

10月

[主催] 応用物理学会

第15回「非弾性イオン表面衝突国際ワークショップ」

10月

[主催] 先端加工機械技術振興協会

「機能性材料の3次元微細加工技術講演会—ナノテクノロジー
時代の基盤技術—」

11月

[主催] 日本真空協会

第44回「真空に関する連合講演会」

11月

[主催] 第7回 X 線結像光学シンポジウム 世話人代表

第7回「X 線結像光学シンポジウム」

12月

[主催] 東北大学多元物質科学研究所

第3回「東北大学多元物質科学研究所研究発表会」

12月

[主催] 応用物理学会結晶工学分科会

年末講演会「放射光で測る・探す・作る」

12月

[主催] 第18回大学と科学公開シンポジウム セッション代表

「タンパク質のかたちから生命のなぞを解く—生物マシーナ
リー構造生物学の最前線—」

2004・1月

[主催] (財)大阪ニュークリアニュークリアサイエンス協会

第13回「放射線利用シンポジウム」1月

1月

[主催] NOP2004 & PSND2004企画運営委員会

「中性子光学国際会議」, 第3回「中性子位置敏感検出器国際
会議」

1月

[主催] 立命館大学

「International Symposium on Portable Synchrotron Light
Sources and Advanced Applications」

1月

[主催] 日本高圧力学会

未来を拓く高圧力セミナー「放射光と高圧科学」

1月

[主催] (財)物質・材料研究機構 ナノマテリアル研究所

第5回「アクティブ・ナノ計測基盤技術の確立」公開成果報
告会

3月

[主催] 日本表面科学会関西支部

第5回市民講座「カーボンナノチューブ：ナノテクノロジー
への挑戦」

9月

[主催] BSR2004組織委員会

「8th International Conference on Biology and Synchrotron
Radiation」

■後援

2003・6月

[主催] (財)高輝度光科学研究センター

「SPRING-8 講習会」

6月

[主催] (財)高輝度光科学研究センター

「ナノテクノロジー総合支援プロジェクト放射光グループ研究
成果報告会」

10月

[主催] ミレニアム・サイエンス・フォーラム実行委員会

「ミレニアム・サイエンス・フォーラム」

11月

[主催] 日本原子力研究所

報告と講演の会「新時代を拓く原子力研究開発」

2004・7月

[主催] (財)高輝度光科学研究センター

第8回「X 線顕微鏡国際会議」

■協力名義使用

9月

[主催] 日本真空工業会, 日本真空協会

「VACUUM2003-真空展」

■推薦

・2003・1月

日本表面科学会 [英文電子ジャーナル創刊 (Advisory Board,
Editorial Board 委員)]

3月 日本学術会議 第19期会員候補者

(上坪宏道会員を推薦し, 「第19期日本学術会議会員として推
薦すべき者」に決定。)

5月 文部科学省 科研費審査委員候補者

6月 日本学術会議 結晶学研究連絡委員会委員 (寿栄松宏仁
会員を推薦し, 委員に決定。)8月 文部科学省 平成16年度科学技術功労者・研究功績者お
よび科学技術振興功績者

2003年度決算報告書

2003年度収支計算書

自 2002年12月21日

至 2003年12月20日

1. 収入の部

(単位 円)

科 目	金 額	細 目	
1. 正会員会費収入	6,339,000		
2. 学生会員会費収入	185,000		
3. 賛助会員会費収入	3,050,000		
4. 購読会員会費収入	652,800		
5. 会誌広告料収入	4,217,840		
6. 会誌販売収入	935,959	会誌収入	103,210
7. 年会・合同シンポ収入	8,057,000	別刷収入	832,749
8. 受取利息	84		
収 入 の 部 合 計			23,437,683

2. 支出の部

科 目	金 額	細 目	
1. 学会誌出版費	9,911,544	会誌印刷費	7,737,019
		別刷印刷費	348,577
		原稿料	493,300
		発送手数料・郵送料	1,332,648
2. 会員名簿制作費	1,265,564	会員名簿印刷費	981,432
		会員名簿発送費	284,132
3. 学会奨励賞副賞	50,000	1名×50,000円	50,000
4. 年会・合同シンポ支出	6,536,842	開催費	5,092,716
		委員会旅費	647,040
		事務管理費	797,086
5. 会議費	1,242,119	会場費	101,419
		旅費交通費	1,140,700
6. 通信費	956,402	電話料金・郵送料	956,402
7. 事務所維持費	132,300	事務所賃貸料	126,000
		水道光熱費	6,300
8. 会員業務費	863,776	名簿管理費	121,695
		印刷費	289,542
		振込手数料・運賃	452,539
9. 会計業務費	460,000	税理士顧問料	460,000
10. 一般事務管理費	773,045	会計管理費	252,000
		事務管理費	521,045
11. その他事務経費	1,089,225	事務用品費	223,783
		消耗品費	565,412
		給料手当	265,750
		事務局交通費	34,280
支 出 の 部 合 計			23,280,817

3. 収支計算の部

当 期 収 支 差 額	156,866
-------------	---------

2003年度資産負債明細

2003年12月20日現在

1. 資産の部 (単位 円)

科 目	金 額	細 目	
1. 現金及び預金	19,566,705	手持現金残高	216,352
		郵便振替残高	5,336,624
		三和銀行普通預金残高	8,617,055
		三井住友銀行普通預金残高	5,396,674
2. 会費未収金	1,524,012	正会員会費未収残高	736,000
		学生会員会費未収残高	29,000
		賛助会員会費未収残高	150,000
		購読会員会費未収残高	345,000
		会誌販売未収残高	264,012
3. 広告費未収入金	650,440		
4. 学会誌在庫高	403,440	学会誌 (Vol. 15, No. 1~ No. 6 328冊)	403,440
5. 電話加入権	70,000		
6. 什器備品 (償却済) 会長用 FAX 償却累計 (268,109)	14,111		
資 産 の 部 合 計			22,228,708

2. 負債の部

科 目	金 額	細 目	
1. 会費前受金	7,563,000	正会員会費	5,004,000
		学生会員会費	159,000
		賛助会員会費	2,400,000
2. 未払金	0	消耗品費	0
負 債 の 部 合 計			7,563,000

3. 剰余金の部

科 目	金 額	細 目	
1. 前期繰越剰余金	14,508,842		
2. 当期収支差額	156,866		
剰 余 金 の 部 合 計			14,665,708

剰余金処分計算書

前期繰越剰余金	14,508,842円
当期収支差額	156,866円
次期繰越剰余金	14,665,708円

上記の通り報告致します。

2003年12月31日

日本放射光学会2003年度 会 長 松下 正
 会計幹事 百生 敦

日本放射光学会2004年度組織

■会長 (任期: 2003.1.1—2004.12.31)

松下 正 (KEK-PF)

■幹事 (任期: 2003.1.1—2004.12.31)

庶務幹事 桜井 健次 (物材機構)

会計幹事 百生 敦 (東大院工)

編集幹事 柳下 明 (KEK-PF)

行事幹事 高田 昌樹 (SPRing-8)

渉外幹事 木村 真一 (分子研)

■評議員 (任期: 2003.1.1—2004.12.31)

朝倉 清高 (北大)

飯田 厚夫 (KEK-PF)

岩崎 博 (立命館大)

大野 英雄 (JASRI)

籠島 靖 (姫工大)

鎌田 雅夫 (佐賀大)

小林 克己 (KEK-PF)

曾田 一雄 (名大)

高田 昌樹 (JASRI)

高橋 敏男 (東大物性研)

大門 寛 (奈良先端大)

中川 和道 (神戸大)

並河 一道 (学芸大)

柳下 明 (KEK-PF)

若槻 壮市 (KEK-PF)

■評議員 (任期: 2004.1.1—2005.12.31)

柿崎 明人 (KEK-PF)

上坪 宏道 (理研)

河田 洋 (KEK-PF)

北村 英男 (理研)

木下 豊彦 (東大物性研)

熊谷 教孝 (JASRI)

坂田 誠 (名大)

田中健一郎 (広大)

谷口 雅樹 (広大)

中井 泉 (東理大)

野村 昌治 (KEK-PF)

松井 純爾 (姫工大)

松下 正 (KEK-PF)

圓山 裕 (広大)

横山 利彦 (分子研)

■編集委員 (任期: 2004.1.1—2005.12.31)

02.12.1~04.12.1

杉山 弘 (KEK-PF)

03.1~04.12

伊藤 敦 (東海大)

小野 寛太 (KEK-PF)

阪井 寛志 (東大物性研)

田中 隆次 (理研)

平野 馨一 (KEK-PF)

藤沢 哲郎 (理研)

前田 文彦 (NTT基礎研)

松村 浩由 (阪大)

◎柳下 明 (KEK-PF)

04.1~05.12

上原 康 (三菱電機)

櫻井 吉晴 (JASRI)

仲武 昌史 (広大)

持箸 晃 (分子研)

吉越 章隆 (原研)

■行事委員 (任期: 2004.1.1—2005.12.31)

鎌田 雅夫 (佐賀大)

河田 洋 (KEK-PF)

木村 真一 (分子研)

木村 洋昭 (JASRI)

澤 博 (KEK-PF)

◎高田 昌樹 (SPRing-8)

田中 均 (JASRI)

平野 馨一 (KEK-PF)

間瀬 一彦 (KEK-PF)

山本 雅樹 (理研)

渡邊 信久 (北大)

■渉外委員 (任期: 2003.1.1—2004.12.31)

古川 行人 (SPRing-8)

原田健太郎 (KEK-PF)

◎木村 真一 (分子研)

■第17回年会・放射光科学合同シンポ組織委員会

※ [] は推薦した共催団体 ◎委員長

伊藤 正久 [SP8 懇]

岩田 章 [東理大]

上野 信雄 [SuperSOR 懇]

◎委員長

◎委員長

岡島 敏浩 [佐賀 LS]
 奥田 太一 [物性研]
 河田 洋 [KEK]
 岸本 俊二 [放射光学会]
 木村 真一 [分子研]
 小池 正記 [産総研]
 後藤 俊治 [SPRING-8]
 佐藤 勇 [日大]
 曾田 一雄 [名大]
 ◎高田 昌樹 [放射光学会]
 高橋 敏男 [PF 懇]
 難波 秀利 [立命館大]
 兵藤 一行 [放医研]
 福井 一俊 [UVSOR 懇]
 堀 利匡 [広大]
 村上 洋一 [東北大]
 望月 孝晏 [姫工大]
 百生 敦 [放射光学会]

■第17回年会・放射光科学合同シンポジウムプログラム委員会

◎委員長

伊藤 正久 (群馬大)
 岩田 章 (東理大)
 上野 信雄 (千葉大)
 岡島 敏浩 (佐賀 LS)
 奥田 太一 (物性研)
 ◎河田 洋 (KEK)
 岸本 俊二 (実行委員長)
 木村 真一 (分子研)
 小池 正記 (産総研)
 後藤 俊治 (JASRI)
 桜井 健次 (物材機構)
 佐藤 勇 (日大)
 鈴木 守 (KEK)
 曾田 一雄 (名大)
 高田 昌樹 (JASRI)
 高橋 敏男 (物性研)
 難波 秀利 (立命館大)
 野村 昌治 (KEK)
 兵藤 一行 (KEK)
 福井 一俊 (福井大)
 堀 利匡 (広大)
 村上 洋一 (東北大)
 望月 孝晏 (姫工大)
 百生 敦 (東大新領域)

若槻 壮市 (KEK)

■第17回年会・放射光科学合同シンポジウム実行委員会

◎委員長

足立 純一 (KEK)
 梅森 健成 (KEK)
 帯名 崇 (KEK)
 河田 洋 (KEK)
 ◎岸本 俊二 (KEK)
 北島 義典 (KEK)
 小山 篤 (KEK)
 桜井 健次 (物材機構)
 高田 昌樹 (JASRI)
 土屋 公央 (KEK)
 中山 敦子 (産総研)
 原田健太郎 (KEK)
 兵藤 一行 (KEK)
 平野 馨一 (KEK)
 百生 敦 (東大新領域)
 山田 高広 (産総研)

2004年度の主な事業計画

■第17回総会

2004年1月8日 物質・材料研究機構千現地区

■第17回年会・放射光科学合同シンポジウム

2004年1月8日-10日 (つくば国際会議場, 物質・材料研究機構千現地区)

■第8回学会奨励賞授与

2003年1月8日 物質・材料研究機構千現地区

■学会誌発行 (年6回)

■シンポジウムおよび講習会開催 (年1~2回)

■共催

・第5回シンクロトロン光アジアフォーラム・佐賀 [主催 佐賀県]

2004年3月16日-17日 サンメッセ鳥栖

■第18回年会・放射光科学合同シンポジウム

開催日/2005年1月予定 場所/佐賀県

■第9回学会奨励賞授与

■2004年度協賛予定

中性子光学国際会議・第3回中性子位置敏感検出器国際会議
 ・合同国際会議/H16.1.12-16

[主催] NOP2004 & PSND2004企画運営委員会

International Symposium on Portable Synchrotron Light
 Sources and Advanced Applications/H16.1.15-16

[主催] 立命館大学

第5回「アクティブ・ナノ計測基盤技術の確立」公開成果報告会・日本顕微鏡学会アクティブ・ナノ顕微鏡部会第2回研究会／H16.1.23

[主催] 物質・材料研究機構・ナノマテリアル研究所
第13回放射線利用総合シンポジウム／H16.1.23

[主催] 大阪ニュークリアサイエンス協会
未来を拓く高圧力科学技術セミナーシリーズ⑧「放射光と高圧科学」／H1.1.23

[主催] 日本高圧力学会
平成15年度日本表面科学会・関西支部・第5回市民講座

／H16.3.13

[主催] 日本表面科学会関西支部
第8回生物と放射光の国際会議／H16.9.7-9.11

[主催] BSR2004組織委員会

■後援予定

ミレニアム・サイエンス・フォーラム／H16.11

[主催] オクスフォードインスツルメンツ

第8回X線顕微鏡国際会議／H17.7.25-29

[主催] 第8回X線顕微鏡国際会議準備委員会

■ 行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2004年 3/13	日本表面科学会関西支部 第5回市民講座 カーボンナノチューブ：ナノテクノロジー への挑戦	大阪府立大学 学術交流会館	大阪府立大 総合科学部 物質科学科 梅澤憲司 E-mail: umezawa@ms.cias.osakafu-u.ac.jp	16・6
3/16-17	第5回シンクロトロン光アジアフォーラム ・佐賀	サンメッセ鳥栖	佐賀県経済部産業振興課 産業・科学振興班 (山津) E-mail: yamatsu-yoshinao@pref.saga.jp	
3/24-25	第21回 (平成15年度) PF シンポジウム	高エネルギー加速器研 究機構	KEK-PF 構造生物学研究センター 加藤龍一 E-mail: ryuichi.kato@kek.jp	17・1
7/19-23	14th International Conference on Vacuum Ultraviolet Radiation Physics	ケアンズ (オーストラリア)	阪大・院・基礎工学 菅 滋正 URL: http://vuv14.anu.edu.au/	16・6
9/7-11	8th International Conference on Biology and Synchrotron Radiation (BSR2004)	イーグレひめじ	BSR2004実行委員会委員長 八木直人 E-mail: yagi@spring8.or.jp	
10/17-22	第15回「非弾性イオン表面衝突国際ワー クショップ」	伊勢志摩ロイヤルホテ ル	大阪電気通信大学 越川孝範 E-mail: iisc-15@isc.osakac.ac.jp	16・4
2005年 7/25-9	第8回 X 線顕微鏡国際会議	イーグレひめじ (兵庫県姫路市)	筑波大学物理工学系 青木貞雄 E-mail: aoki@bk.tsukuba.ac.jp	

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■第21回 (平成15年度) PF シンポジウム

主 催：高エネルギー加速器研究機構・物質構造科学研究所・放
射光研究施設、PF 懇談会

会 期：2004年3月24日(水)～25日(木)

会 場：高エネルギー加速器研究機構、3号館セミナーホール他
プログラム：

3月24日

施設報告

招待講演：

- 「ERATO 腰原プロジェクト」 腰原伸也 (東工大)
- 「放射光を用いた X 線小角散乱法によるブロック共重合体の結
晶化過程の追跡」 野島修一 (東工大)
- 「Diels-Alderase の構造解析」 尾瀬農之 (北大)

新企画「光源から利用研究まで」第一部

- 「新企画の意図説明」 加藤龍一 (PF)
- 「AR-NW12構造生物」 山本 樹, 松垣直宏, 志波智生 (PF)
- 「9C 時分割 XAFS」 野村昌治 (PF), 鈴木あかね (東大)

ポスターセッション

- S 課題からの研究発表, U 課題からの研究発表, ユーザーグ
ループからの研究発表, 光源・将来計画, 新ビームライン報
告, その他

18:30～懇親会

3月25日

新企画「光源から利用研究まで」第二部

- 「AR 臨床応用」 宮島 司, 兵藤一行, 大塚定徳 (PF)
- 「1C, 2C 光電子分光」 小野寛太 (PF), 組頭広志 (東大)

招待講演第三部

- 「カーボンナノチューブ (1 次元金属) の電子伝導性」
石井広義 (都立大)
- 「創薬を指向した構造生物学」 田中信忠 (昭和大)
- 「世界の放射光施設と PF」 野村昌治 (PF)

PF 懇談会総会

将来計画

松下, 野村, 飯田, 小林

トーク, ディスカッション

PF の運営について (座長: 佐々木会長)

参加申込方法：

参加料無料 (できれば事前に実行委員長の加藤までメールで申
込), 宿泊希望の方はできるだけ早く実行委員会場係まで問
合わせ。

ポスター発表の希望者は 2 月末日までに実行委員長の加藤ま
でメールで申込。

問合せ先：

PF シンポジウム実行委員長 加藤龍一

高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 構造生物
学研究センター